

出したごみ、その後どうなる？

ある日のプラスチック資源ごみ回収現場

こんなごみが混入していました

ペットボトルのフタや食品トレーや容器、ビニール袋などが対象の「プラスチック資源ごみ」。収集された資源ごみは、作業員が手作業で選別しています。

汚れたごみや分別が誤っているごみが混ざっていないか、一つ一つ選り分ける大変な作業です。



プラスチック資源ごみって？



このマークがついているもの
汚れないきれいなもの

食品トレー
バック容器



ビニール袋



ペットボトルの
フタやラベル



など

汚れたものは 燃やせるごみへ



食べかすが付いたお菓子の袋や容器



プラスチックマークの
ないコップ など

× 資源ごみではありません



正しくは
「燃やせるごみ」



正しくは
「燃やせるごみ」



・医療廃棄物は**処方元へ確認**
・未洗浄のごみは「必ず洗浄する」か
「燃やせるごみ」へ

汚れたまま出すと、どうなる？

汚れたものが混入すると、その汚れが他のゴミに付着してしまいます。せっかく分別されたプラスチック資源ごみも、資源ごみにできなくなることがあります。

「洗う」ひと手間が、資源を守ります

きれいに分別された資源ごみをみると、きちんとリサイクルに繋がることを実感します。ですが、分別が誤っているものや、特に汚れたごみをそのまま出してしまうと、分別が大変ですし、非常にもったいない気持ちになります。資源ごみの処理は手作業でしていることをご理解いただき、分別をお願いします。

作業をしている方の声

焼却炉から出てきた金属ごみ



焼却炉から出てきた灰から、毎日金属製品が出てきています。ラックやトング、鍋など、表面はシリコン加工されていても、中身は金属製のものが少なくありません。捨てる際には必ず確認しましょう。



ガスボンベ



ガスボンベの混入は重大事故につながります。事故が起こればごみ収集が停止し、生活に多大な影響が及びます。ガスボンベは必ず穴を開け、ガスを抜いた上で、資源ごみとして「空き缶」の袋に入れて捨ててください。

燃やせるごみにも、分別が誤っているものが混入しています。

燃やせるごみの分別状況

火災を防ぐために！

リチウムイオン電池の捨て方、知っていますか？

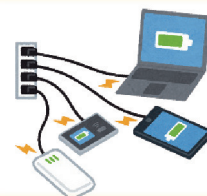
全国的に、リチウムイオン電池が原因でごみ収集車やごみ処理場で火災が発生しています。リチウムイオン電池はルールを守って捨てましょう。



① リチウムイオン電池・電池使用製品の見分け方



リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表示されています。



「充電できる製品」や「電源につながなくても動く・光る製品」はリチウムイオン電池が使用されている可能性があります。

② リチウムイオン電池が使用されている製品の具体例



③ 捨てる時に守っていただきたいこと



④ 捨てる時の手順 なるべく、使い切ってから捨ててください。

本体から電池が外せますか？

外せる場合

①電池を本体から外す



②＋端子をビニールテープなどで覆い絶縁する。

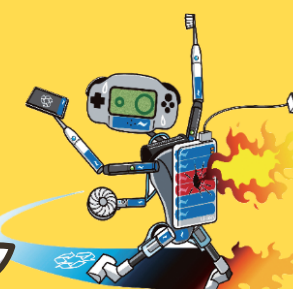
③「不燃ごみ収集袋(赤)」にいれて、電池は乾電池類の所定収集日に出し、本体は不燃ごみ収集日に出してください。

外しにくい場合

無理に分別しないでください。
本体ごと不燃ごみへ



「不燃ごみ収集袋(赤)」に入れて、不燃ごみ収集日に出してください。



©環境省

【お問い合わせ】 環境政策課 環境衛生係 電話:54-2513

皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。